

LMSの新機能をご紹介します！

～ タブ、モジュール、コミュニティ、Mobile Learn ～

授業支援システムLMS(製品名：Blackboard Learn R9.1)において、2012年度より、オプションのライセンスが利用できるようになりました。これまでは、Course Deliveryという授業支援システムとして基本的な機能が提供されるライセンスを利用していました。これに加えて、Community EngagementとMobile Learnという2種類のライセンスを利用できるようになりました。今回は、これらのライセンスにより、ユーザのみなさまが新たに利用できるようになった機能をご紹介します。

○タブ

タブは、LMSの1画面に表示する情報を利用目的に応じてまとめたものです。タブを切り替えることで、目的の情報へアクセスしやすくなります。

現状、本学の設定では、下図に示すように、ホーム、授業(コース)、コミュニティ、その他のモジュールの4つのタブが利用できます。ホームタブは、ログイン直後に必ず表示されるタブです。授業(コース)タブは授業に関する情報を、コミュニティタブは後述するコミュニティをそれぞれ表示するタブです。その他のモジュールタブは、表示する情報をユーザが自由にカスタマイズできるタブです。



○モジュール

モジュールは、タブの中で情報を表示したり入力したりするエリアのことです。様々な種類のモジュールが利用でき、例えば、メモをとったり、ブックマークを管理したりできます。タブの中で、どのモジュールを利用するかは、上図に示すように、タブ名のすぐ下の「モジュールの追加」から設定します。なお、ユーザが利用モジュールを追加で

きるタブは、ホームとその他のモジュールの2つのタブです。

○コミュニティ

コミュニティは、授業以外の情報を共有したり、管理するためのエリアです。授業で用いるためのコースにおいて提供されている機能がすべてそのまま使えます。たとえば、学部・学科、研究グループ内でのメンバに限定した情報共有などに活用できます。コミュニティを新たに作成するためには、申請が必要です。申請方法は、[LMSサポートサイトの各種申請ページ](#)をご参照ください。

◆「教職員のひろば」コミュニティ

本学教職員のみなさまがFD関係イベントや、LTセミナーなどの情報を共有するための「教職員のひろば」コミュニティをオープンする予定です。準備が整いましたら、LTレターにてご連絡します。

○Mobile Learn

Mobile Learnは、スマートフォンやタブレット端末からLMSを利用するための機能です。各機器に適したインタフェースにより、LMS内のコンテンツにアクセスできます。利用可能な機器は、iPhone、iPod Touch、iPad、Android端末です。この機能を利用するためには、各機器にBlackboard Mobile Learnというアプリケーションをインストールする必要があります。インストール方法と利用方法の詳細は、[LMSサポートサイトのマニュアル](#)をご参照ください。

以上の機能について、ご不明な点がございましたら、LT開発室へお問い合わせください。



授業支援システムLMS活用授業レポート

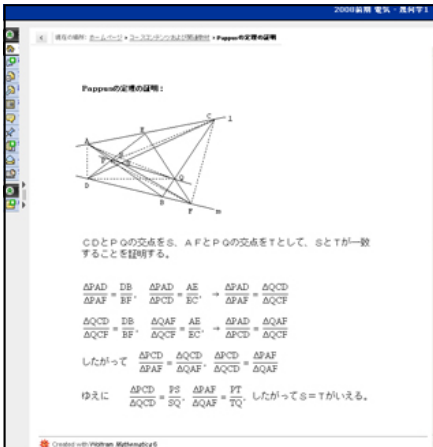
○対面型授業を補完する活用の方法

理工学部ヒューマン情報システム学科の古井貞隆先生の「数学」「物理学」「幾何学」などの授業での活用事例を紹介します。

導入のポイントは、コンテンツをしっかりと作り込んでからではなく、毎回の講義内容を記録するところからはじめたというところです。それぞれの科目の進捗状況を記録しておきたいという教員自身のニーズに対して、カレンダー機能を利用することから始まりました。この講義記録は学生へも公開しています。

その後、教材や練習問題、課題の解説などを載せて、学生がこれらを活用して学習することを促進しました。その一つに、授業のコンテンツから、WebMathematica[®]を使った教材にリンクを付けて事前学習ができるような工夫があります。また、課題を周知徹底させたり、課題レポートを回収するなどの使い方もしています。

活用のポイントとしては、事前学習や自学自習を



(授業支援システムWebCTでのコンテンツ例)

*WebMathematica : Web上でインタラクティブに計算し、可視化する数式処理システム。微分、因数分解、部分分数分解、ベクトルの内積と外積などの計算練習ができる。

LMS Tips

- ◆ 成績センタに成績をアップロードする
- ◆ スマートフォンやタブレット端末から利用する

詳細は帝京大学LMSサポートサイトをご覧ください。
<http://www.lt-lab.teikyo-u.ac.jp/lms-ss/>

○「自分のペースで学習できる」授業の例

2011年度後期に、理工学部ヒューマン情報システム学科の渡辺博芳先生、古川文人先生、高井久美子先生の「情報システム実習1」で先行活用した事例を紹介します。この授業は、授業時間中も基本的には自分のペースで学ぶセルフラーニングを主体とした学習活動から構成されており、コンピュータ教室で実施しています。



LMSには、各回の教材として、HTMLのコンテンツや、授業中に録画した講義ビデオへのリンク、課題、オンライン小テストなどを準備しました。HTMLコンテンツや小テストは、以前使っていた授業支援システムWebCTから内容を移行しています。

活用ポイントとしては、学習内容の多くをコンテンツとして載せていること、小テストを繰り返し実施していることが挙げられます。学生アンケートからは、自分のペースで学習できる授業形態が好評で、LMSを活用して授業時間以外の自分の時間をうまく使っている様子がわかります。このように学生の声をアンケートで得られることや、課題内容や締切、提出先などの連絡事項が適宜周知できることも利点と言えます。

編集後記

節電の流れから5月からクールビズのノーネクタイ・ノージャケットの人を多く見かけるようになりました。6月1日に夏服への衣替えを行うのは学生の制服のみなのでしょうか。それとも学生も違いますか。昨年度は、LTコンサルテーションが21件、WebCTを活用した授業が317科目、LMSを先行活用した授業が19科目、ビデオライブラリを活用した授業が30科目ありました。(渡部)

